

## 南相馬市震災9年後の人口推移についての一考察

一般社団法人 南相馬除染研究所  
Chief Coordinator 田中節夫

### 背景

東日本大震災とこれに端を発し未曾有の経験となった福島第一原発事故から2020年3月で9年を経過します。

この間住民避難や人口流出、その後の多様な地区の復興・新興が図られてきました。

その復興・新興する力の源泉として、人口の推移は市勢のパワーを示す重要なバロメーターとなります。

そこで、震災や福島第一原発に起因する人口への影響はどの程度あったのか、多くの苦難を乗り越えてきた9年間の人口推移を観察することから、将来にわたる人口増減とその影響について取り上げてみました。

### まとめ

#### 1. Fig-1 から

2010年国勢調査時点の南相馬市在住の人口(現住人口)には、2011年以降の復興にかかわる人口や震災、原発事故による避難市民は含まれず、2015年国勢調査時点には流入のピークを越えた復興にかかわる流入就業人口や、他の市町村からの避難家族の帰還開始による現住人口減が、調査結果の反映された2017年以降の現住人口の減少から推定されます。

さらには、調査時点に市街へ避難や就業などが発生している住民登録された人口(基本台帳登録人口)の市民は、現住人口にもカウントされず現住人口の減少に影響を与えていると推定されます。

他方明らかに原発事故による影響で大幅な人口減少を生じた結果が2011,12年の減少差異に認められるが、その後は2020年に至るまで減少傾向にあるものの、基本台帳登録人口は2012年以降大きな減少は見せておらず、現住人口との差異拡大(流出)の是正(不在人口の回復)が課題になる。

#### 2. Fig-2・3 から

人口回復に最も重要な0~59歳の、特に基本台帳登録人口のうち中核となる生産人口の減少が止まらない。

その中でも年少人口増加や経済活動の活性化に、貢献を期待される年齢30~39歳層(世帯層)の人口減少が顕著なことが判る。

#### 3. Fig-4 から

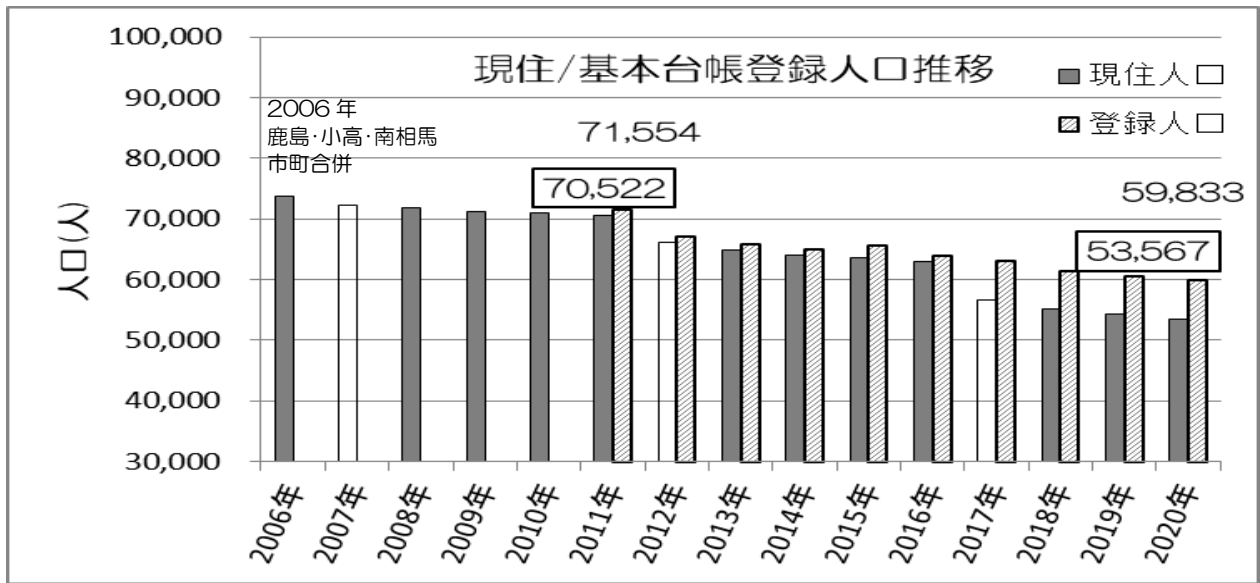
年少人口の増加に最も影響を与える世帯数の推移のうち、2010年国勢調査以降では現住世帯数は基本台帳登録世帯数と同様緩やかな変化を示していたが、2015年の国勢調査の結果を反映した2017年の統計値では急激な増加を示している。

この主要因は2010年国勢調査以降の震災により、他市町村からの避難居住世帯が発生したためと推定される。

従って、震災から10年を経過し、帰還が実現また将来生活を考えた永住居住環境の構築が進み、避難世帯の動向が決定されはじめる2020年の国勢調査の結果、つまり2012年の反映統計値は、南相馬市の将来人口増減の方向性が推定され、またその結果は現在取り組まれている新規産業体制への取り組みなどから、より良い生活環境を創出する施策案が生み出せることに期待されます。

1. グラフで見る南相馬人口の現況

Fig-1



注)グラフ中現住人口の白抜き棒グラフ年度は国勢調査の結果が反映された統計値の初年度を示す。  
 国勢調査年度:2005,2010,2015年で、震災年度の2011年は2010年度の国勢調査の結果は反映されていない。(参考:枠数字:現住人口 黒数字:登録人口)

現住人口と基本台帳人口の違い:

現住人口:市役所への住民登録の有無に関係なく、国勢調査時点における当該地点の居住の有無でカウントされる人口。以降は出入登録の増減実績でカウントする。よって無登録人口の変化は次回国勢調査まで反映しない欠陥がある。

登録人口:市役所への住民登録がされた人口をさし、以降も出入登録の増減実績でカウントされる。つまり、居住実態はあっても住民登録されていない人口は反映しない。

Fig-2

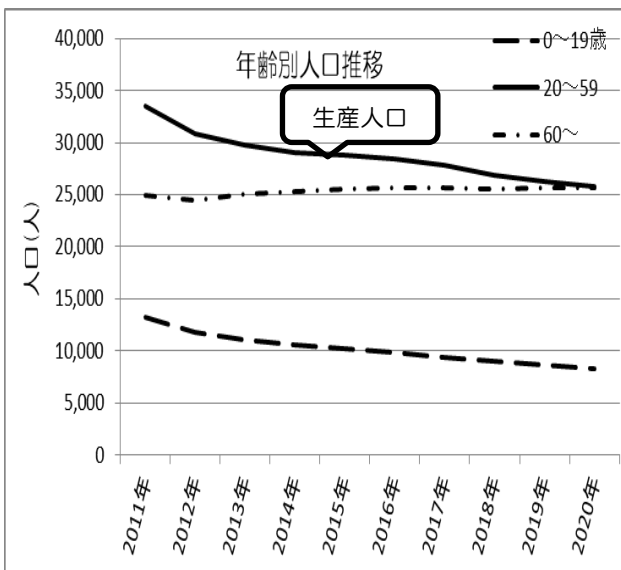
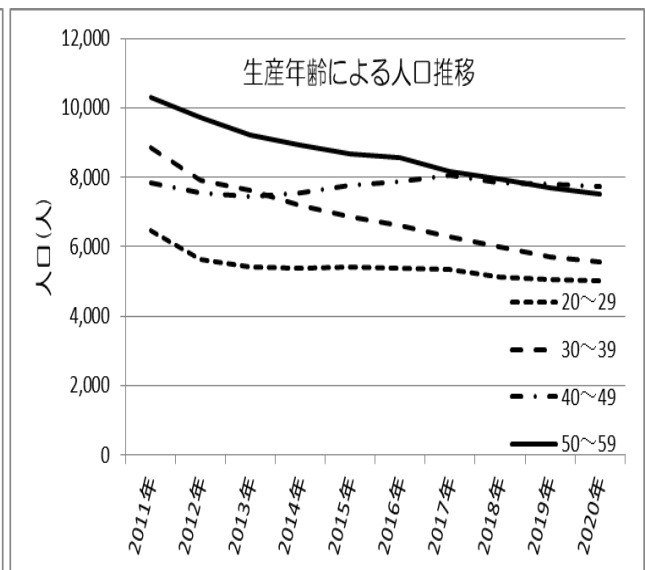


Fig-3



注)Fig-2は経済活動の中心となる年齢層を「生産人口=20~59」と考えた時の年齢別人口推移を示す。

Fig-3のグラフは生産人口の内訳推移を示す。

人口の出典先:南相馬市 HP 掲載の住民登録基本台帳統計による。

Fig-4

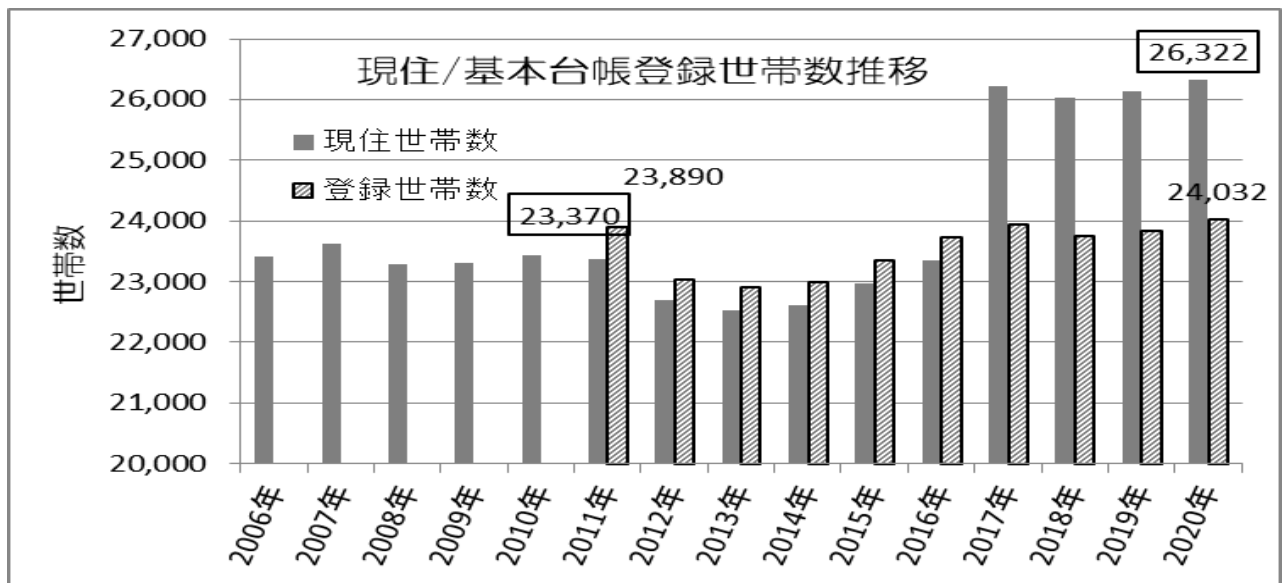
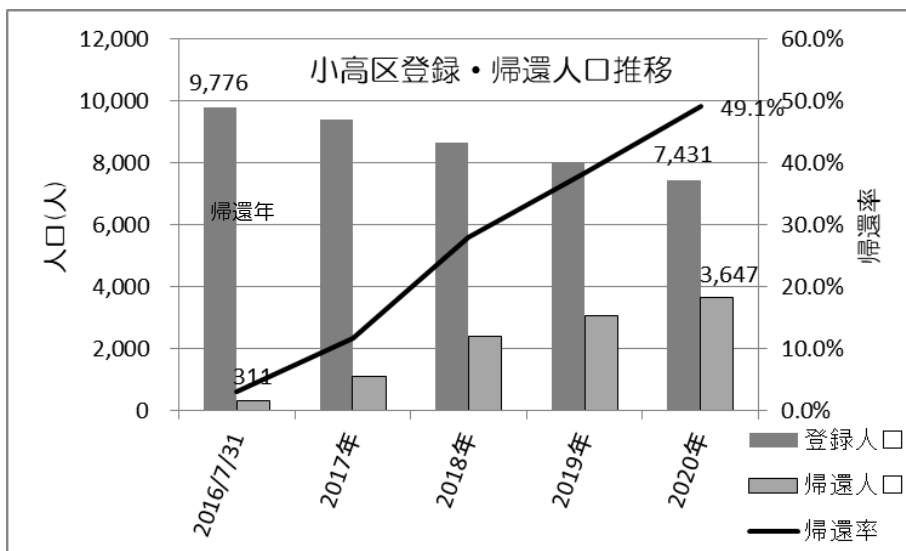


Fig-5(参考)



注)上図は小高区に住民として登録された基本台帳人口を示している。

2020年1/1現在には登録人口に対して49.1%(約半数)が帰還を果たしていることが判るが、2016年には9,776人の人口があったので4年間で2,345人の町内人口の減少が減少しており、2016年比では帰還率がこれより低下していることが判る。

但し、小高区から原町区に移住した世帯もあり、南相馬市人口が同数減少しているとは云えない。